

2020年7月7日

各位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)

ゲノム編集における先進技術を持つ Emendo Biotherapeutics 社への追加出資完了のお知らせ

当社は、当社の関連会社である米国のバイオ企業 Emendo Biotherapeutics 社（以下 Emendo 社）へ 2,500 万 USD の追加出資を予定どおり行いましたのでお知らせいたします。これにより、遺伝子治療の中でも応用範囲が広いとされているゲノム編集技術での Emendo 社との共同開発が加速化されます。

当社では、ゲノム編集による医薬品の開発を、HGF 遺伝子治療薬、核酸医薬、DNA ワクチンに続く第 4 の柱として、当社の開発パイプラインをさらに拡充していきます。

当社代表取締役社長の山田英は次のようにコメントしています。「アンジェスは、強固な資本提携を土台に Emendo 社と究極の遺伝子治療であるゲノム編集の領域で世界最先端の技術を携えて世界中の患者さんの救済に努めて参ります。当社は、この技術により従来のゲノム編集技術の課題を解決し、世界のトップに躍り出ることを目指します。アンジェスはこれからも遺伝子医薬のグローバルリーダーとなるべく着実に歩を進めてまいります。」

【用語の解説】

ゲノム編集：

ゲノムとは、DNA（デオキシリボ核酸）の塩基配列で構成されている遺伝子の総体のことで、ゲノム編集とは、DNA の特定の塩基配列（ターゲット配列）のみを切断する DNA 切断酵素（ヌクレアーゼ）を利用して、思い通りに遺伝子を改変する技術。DNA 切断酵素としては、ZFN（ジンクフィンガーヌクレアーゼ）、TALEN（ターレン）の他 CRISPR/Cas9（クリスパー・キャスナイン）などの RNA 誘導型 DNA ヌクレアーゼが知られている。Emendo 社で扱うのは RNA 誘導型 DNA ヌクレアーゼを用いる方法。RNA 誘導型 DNA ヌクレアーゼは、ガイド RNA とヌクレアーゼタンパク質という 2 つの別々の分子で構成される。ターゲット配列は、標的部位となる DNA 配列と相補的な配列をもつガイド RNA によって規定され、RNA 誘導型 DNA ヌクレアーゼタンパク質はガイド RNA が規定する標的部位を特異的に切断する。

本件に伴う 2020 年 12 月期の業績への影響については精査中です。

【2019 年 12 月 12 日のリリースからの参考情報】

1. Emendo 社の事業内容

Emendo 社は、安全性が高く標的選定の自由度が高いゲノム編集技術を有しております。

ゲノム編集は、特定の塩基配列（ターゲット配列）のみを切断することによって、標的とする遺伝子を改変しますが、類似の配列を誤って切断してしまうこと（オフターゲット効果）により標的以外の遺伝子の変化を生じさせる可能性があるため、安全性上の課題となっております。

Emendo 社は、この方法とは別に、ターゲット配列以外では DNA を切断することがない高精度な切断酵素の開発を行っております。これにより、安全性の高いゲノム編集が実現するのみでなく、類似した配列の制限を受けることなく、より自由に標的を選定できるようになることが期待できます。

2. 出資先の概要

- (1) 本社所在地：400 W 61st St, New York, NY, 10069 USA
- (2) CEO：David Baram
- (3) 設立：2015 年 12 月
- (4) 資本金及び資本準備金：43,789 千ドル（2020 年 3 月 31 日時点）
- (5) 事業内容：重篤な疾患や障害の原因となる細胞の遺伝子異変を修復、除去することができるゲノム編集技術の開発

3. 出資の内容

- (1) 出資額：50,000,000 ドル(1 ドル 109 円換算で 54.5 億円)
- (2) 当社持株比率：約 32%(完全希薄化後)
- (3) 払い込み：2020 年 1 月及び 6 月にて支払い完了

以 上

<u>お問い合わせ先</u> アンジェス株式会社 社長室 広報・IR 担当 03-5730-2641
